

（ 6 ） 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報 （履修モデルの設定、主要科目の特長、科目ごとの目標等）

履修モデルの設定（令和 4 年 5 月 1 日現在）

学部及び大学院では、計画的な履修に役立てる資料として、履修モデル（資格・免許取得の要件充足に向けた履修例を示した表）またはカリキュラム・ツリー（ディプロマ・ポリシーを踏まえて教育課程の関連性を可視化した系統図）を設定し、学内向け e-learning システム「moodle」に掲載している。

主要科目の特長（令和 4 年 5 月 1 日現在）

学校インターンシップⅠ（人間教育学部 教育・心理学科／1 年次配当科目・通年）

事前・事後指導及び薩摩川内市内の公立幼稚園、小学校、中学校における体験学習（5 日間）を通し、児童生徒としての視点だけでなく、教師としての視点から教職や教育について考えるためのきっかけをつくる。

博物館実習Ⅲ（国際人間学部 ことばと文化学科／4 年次配当科目・前期）

実際の博物館での実習を通して、学芸員としての実践的な技能を身につけ、それを実際の博物館学芸業務の中で活用できるようになる。

こども学演習Ⅵ（こどもセラピーⅡ）（国際人間学部 こども学科／4 年次配当科目・通年）

心理学や臨床心理学を基盤として、特に教育・福祉領域で起こる様々な問題や支援に視点をあて、心理を学びながら支援に役立つゼミ論文を作成する。それと同時に人や社会に関心を持ちながら、情報を収集し分析する力を培い、支援者に必要な“想像力と創造力”、それを表現するコミュニケーション能力を身につける。

がんを病む人の援助論（看護栄養学部 看護学科／3 年次配当科目・前期）

がん特有の病態（進展、転移、再発）や診断法・治療法等の基礎的知識を踏まえ、がんと共に生きる人の QOL の維持・向上を目指した看護について学習する。

応用栄養学Ⅰ（看護栄養学部 健康栄養学科／2 年次配当科目・前期）

人の一生を、母性期→乳児期→幼児期→学童期→思春期→成人期→高齢期というライフステージとしてとらえ、各時期の身体的、精神的特性をつかみ、栄養のあり方を学ぶことで、各ライフステージにおける栄養マネジメントの考え方を理解する。

臨床心理基礎実習（人間科学研究科 心理臨床学専攻／1 年次配当科目・通年）

本学大学院の附属機関である心理臨床相談センターでの相談業務について理解し、実際の相談場面を観察・陪席することにより、2 年次のケース担当にむけて、心理臨床に携わる者としての基本的姿勢や態度、ならびに基礎的な実践技能を体験的に習得する。

科目ごとの目標等（令和 4 年 5 月 1 日現在）

各科目の到達目標等はシラバスに明示しており、学内外から参照可能である。

シラバス検索
(学部・大学院共通)

https://lcb.k-junshin.ac.jp/ext_syllabus/syllabusSearchDirect.do?nologin=on